

# 夢ヲかたちに in ひょうご ~福祉準備会通信~ 号外

～住んでる街を住みたい街に～

グリーンコープ生活協同組合ひょうご 理事会

発行日：2022年 6月27日

全組合員に関わる大事なお知らせです。

## 2022年10月より

### 100円基金の拠出<sup>※1</sup>が始まります。

6月17日開催「第18期総代会」にて提案し、審議の結果、可決されました。

☆「福祉活動組合員基金設置の件」

☆「基金運用委員会設置とその管理運用に関する規定・規約・細則設定の件」

※1 拠出：相互扶助の為に金銭や物品を出し合うこと。例えば、年金や保険の加入者が運営者に対して、掛け金を払い込むことを拠出と言います。

#### ☆福祉活動組合員基金＝100円基金☆

グリーンコープで災害などあった時に集めるカンパはそれぞれの被災地の為に使われますが、組合員が毎月100円ずつ拠出<sup>※1</sup>して資金として集め、グリーンコープ生協ひょうごの地域福祉のために使います。自助でも公助でもない、組合員が力を出し合う「共助の福祉」を行うグリーンコープの「参加型地域福祉」という考え方で、全員参加で広くうすく基金を集めたいと考えています。拠出に同意できない方からは無理に徴収しませんので、意思確認書にて同意・不同意を提出して頂くこととなります。

☆今後の予定☆9月：同意・不同意書の提出、10月：毎月100円拠出開始（11月5日引落し）  
詳しくは、後日配布の冊子にてご案内します！（組合員全員に8月末から配布予定）

## 100円基金シンボルマーク決定！



4月に組合員の皆様より募集し、14名の応募がありました。厳正な審査の結果、西宮在住の

**Aさんの作品が大賞**に選ばれました！

**他2名の作品が元気くん賞**となりました。

今後の活動で使用させていただきます。

賞品と応募者への参加賞は後日お届けいたします。

ご応募いただいた皆様ありがとうございました。

## ☆基金運用委員会☆

基金を拠出している組合員（各地域より選出）と理事会の代表で構成される基金運用委員会を設置します。

2023年3月に運用委員を募集し、来（2023）年度行われる総代会にて基金運用委員会を承認

↓  
2022年10月～2023年9月の1年間で集まった基金の使いみちを検討して決定

↓  
2024年4月からの活動に活かされます。

※助成後の活動内容については、年に1回の「基金運用報告会」で報告します。

## 100円基金Q&A

### Q. 拠出した100円基金は何に使うの？

A. グリーンコープ生協ひょうごの活動エリア全体の福祉活動に使われます。地域の福祉活動への助成や、福祉ワーカーズの育成や運営（拠点の賃料等）の助成に使われます。（将来的には福祉サービスの建設原資にも）また、子育て応援の取り組み等それぞれの地域で必要とされる福祉への使い方を検討します。理事会では「夢ヲかたちに！理事会」でひょうごのマスタープランを検討しています。使い道は組合員の代表で構成する基金運用委員会が検討して決めるので、現時点で何に使うかは限定していません。

### Q. 利用しないかもしれないのに、拠出（参加）しなくてはいけないの？

A. グリーンコープのめざす参加型地域福祉は、住んでいる街を住みやすく、またその地域にとどまらず広く福祉を変えていく力になることです。利用する・担い手となる・お金を出すと様々な形で参加して、まずは、今住んでいる街を住みやすくしていくことから考えます。利用しなくても拠出した100円はその活動に活かされ、様々な場面で活用され誰かの役に立っている…そんな助け合いの参加型福祉を目指しています。また、利用しないつもりでも現在の社会状況の中では、いつ利用する立場になるかもしれない、また自分の欲しい（必要な）サービスが始まるかもしれない、そんな思いで参加していただけたらと思います。

### Q. 何故「全員で」と考えるのか？ 100円の重みがそれぞれ違うのでは？

A. グリーンコープの100円基金ではたくさん商品を購入する利用高の高い人も利用の少ない人も平等に「100円で」と考えています。グリーンコープの福祉は「公助・自助・共助」のうち「共助」です。共助の中には強いも弱いもなく、支援し支援される関係だけではない、「共に生きる」という考え方です。だからこそ「毎月100円を全組合員から」を基本にします。出せる人がたくさん出して行く基金の場合、皆が関心を持つことはないと考えます。ジュース1本買えない100円ですが、広くうすく出し合うことで、皆が関心を持ち、皆で参加して進める福祉となります。今必要としている人、今は困っていない人も、みんなで広く支え合っていくこと（共助）を目指しています。誰かがしてくれるのではなく、自分たちが「知恵・力・お金」を出し合っで福祉に“参加”することが大事です。そうしなければ、今後やってくる超高齢社会に対応できません。しかし、どうしても「同意できない人」から強制的に集めたりはしません。同意・不同意の意思を全員から丁寧に確認します。

### Q. 100円は出し続けるの？ 返してもらえるの？

A. 出資金ではありませんので返金はありませんが、継続的な100円の拠出が安定した地域福祉の基盤となりますので、ご協力よろしくお願ひします。

福祉活動組合員基金についてのご意見や感想・質問は随時受け付けています。是非、お声を届けて下さい。

これまでの「100円基金のご案内（福祉準備会通信1号～4号等）」はグリーンコープひょうごホームページの『配布中のチラシ』にて公開中



ひょうごIP配布中のチラシ

hukusi\_midorin@yahoo.co.jp  
（お名前と組合員番号を添えて）

